

北海道各地から産出する黒曜石
その47

生田原地域～露頭写真～ (Ikutahara Area)



写真1 安国B地点の露頭。山を登っていくと斜面に黒曜石が所々に散在しており、黒曜石の露頭が近くにあることを示唆する。

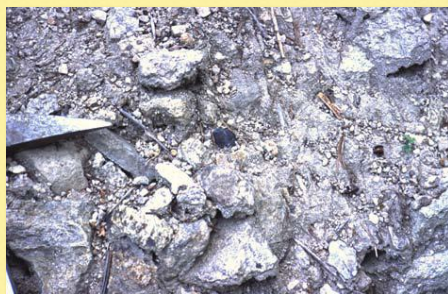


写真2 安国B地点の黒曜石(写真中央)。黒曜石は仁田布川の右岸の山の斜面にはなく、左岸の山の斜面にしか存在しない。



写真3 安国A地点の近辺の露頭。新第三紀中新世の生田原層が露出。この凝灰岩中に黒曜石の礫が含まれる。



写真4 安国A地点の近辺の露頭における黒曜石礫の産出状況。写真中央に数cm大の黒曜石の礫がある。



写真5 西側の遠軽町との境界付近にあたる山中でも黒曜石の転石が見られる(写真中央)。露岩が近くに存在することを示唆する。



写真6 仁田布川A地点。この川からは数cmから最大16cmの黒曜石の転石を採取。生田原町内では容易に採取できる場所である。

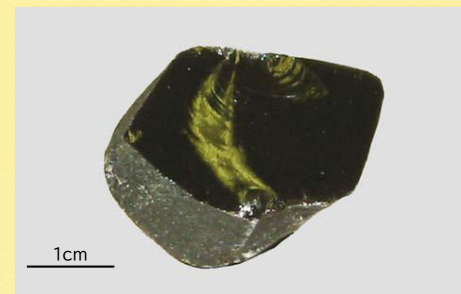


写真7 仁田布川A地点で採取。黒曜石は漆黒色で光沢がある。割れ口は貝殻状断口を呈し、石器の材料としては最適である。



写真8 今回の調査により初めて生田原に黒曜石の原産地が見つかった。近辺の遺跡から生田原産のものが見つかる可能性もある。

Mukai Masayuki

(学芸員 向井 正幸)

旭川市博物館HP

地学シートHP



地学Sheets

Asahikawa City Museum

